

演習の手順

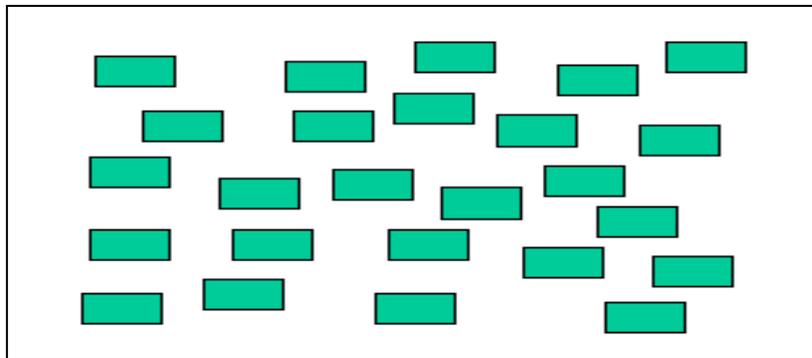
(演習について)

- 演習開始時に自己紹介と役割の確認（司会者、書記、発表者）をしていただきます。
（お名前、所属、職種について簡単をお願いします。）

(KJ法の説明)

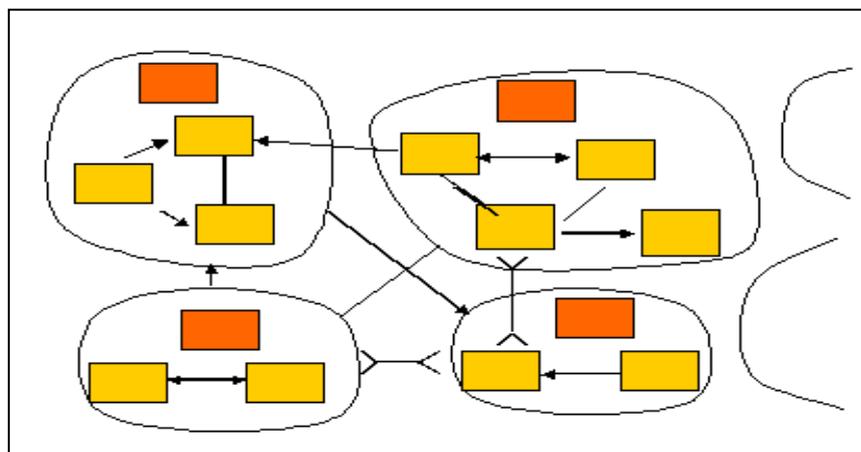
研修では、KJ法と呼ばれる手法を簡潔にした方法でグループワークを進めていきます。

第1ステップ:まず、提示された事例に対する課題をお配りするふせん紙に書き出した後、課題のかかれたふせん紙を、模造紙の上に、ばらばらに貼っていきます。**以降の作業を進めやすくするため、課題は単語・文節単位で簡潔に書いてください。**



第2ステップ:模造紙に張られたふせん紙の内容を眺めながら、関連性のあるふせん紙が近くに集まるように、貼りなおして、ブロックを作っていきます。（内容が後で読めるように、ふせん紙が互いに重ならないように貼ってください。）

第3ステップ:ブロック間に関係性がある場合は線でつないだりして、各課題の関連性などを検討しながら、各ブロック（課題）への対応方法を直接模造紙に書き込んでください。



第4ステップ:第3ステップまでで作成し終わった模造紙を見返して、課題とその対応のブロックで、どのブロックが優先されるべきかを検討してください。